

BCP連携について

1 現状認識

- ① 重視しているリスク
 1位 地震(91.4%)
 2位 感染症(66.9%)
 3位 火災・爆発(53.6%)
内閣府：R5企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査
- ② 南海トラフ地震臨時情報
 ・8/8初めて発令
 ・南海トラフ沿いで異常な現象を観測された場合や地震発生との相対性が高まっていると評価された場合に気象庁から発表

- ③ BCP策定状況
 策定している 19.8%
 現在、策定中 7.3%
 策定を検討している 22.9%
 → BCPの策定意向 合計 50%
(株)帝国データバンク：事業継続計画(BCP)に対する企業の意識調査(R5)

事業継続計画(BCP)とは？

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画

2 旭川の優位性

(出典：企業立地ガイドブック等)

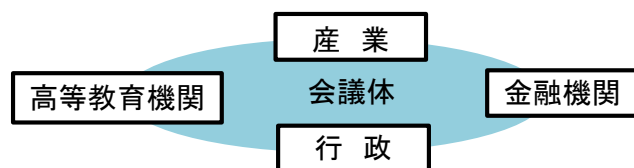
- ① 過去30年間に震度1以上の地震は
1.8 回／年
東京都千代田区大手町 79.0回／年
- ② 台風も少なく接近回数は
1.9 回／年
気象庁HP1991年から2020年までの平均値
- ③ 今後30年以内における震度6弱以上の地震発生率は
0.76 %
全国地震動予測地図2020年版
- ④ スムーズで良好な交通アクセス
 ・高い就航率を誇る旭川空港
 ・利便性に優れた旭川駅
 ・冬でもスムーズな物流を支える旭川北 I.C

地震などの災害が少なく、安全安心である旭川市の優位性を生かした取組強化によるビジネスチャンスの創出

旭川市の優位性PR + 遠隔地との相互BCP連携の促進

3 具体的な取組

① 産学官金等の連携を生かした会議体の設立



<他地域>

①BCP連携希望

⑤BCP連携契約

<旭川市>

②連絡

③連絡

④サポート

② 「(仮称)BCP連携都市」としてのPR

全国の事業者の事業継続を支える拠点
 =BCP連携の受け皿となる都市であることをPR
 (例)パンフレットや展示会でのPR

